

石巻専修大学

http://www.senshu-u.ac.jp/ishinomaki/

石巻専修大学
広報係
☎986-8580
宮城県石巻市
南境新水戸1番地
☎0225-22-7717(直)

2018年4月
創立30年
を迎え
ます

産学・異業種連携で開発



▲商品の開発を説明する伊藤ゼミ長(左)と佐々木さん

宮城県産の養殖銀ザケを活用した家庭用生ラーメン「宮城・石巻産シャケだしラーメン」が完成し、4月22日に本学で商品発表会が行われた。経営学部経営学科・石原ゼミ(指導・石原慎士教授)、理工学部食環境学科・鈴木英勝准教授と石巻市の製麺会社、水産加工会社、農事組合法人の産学・異業種連携体制で約1年にわたって開発。こだわりの素材と味で食卓への浸透を目指す。宮城県は養殖銀ザケの出荷量が日本一で、全国生産の9割を占める。「シャケだしラーメン」は、濃縮スープに銀ザケの中骨から抽出したエキスを配合。漢方薬を配合した飼料で育った県産牛や豚骨エキスを配合し、サケの風味とうまみを引き出している。発表会では、マーケティング戦略の策定や市場調査に携わった石原ゼミの伊藤大亮ゼミ長(経営4・宮城県仙台育英学園高)と、銀ザケ筋肉の化学成分や物理的性質の研究を行った鈴木研究室の佐々木愛さん(理工4・宮城県明成高)が開発の経緯や商品の特徴を説明。海外産銀ザケの輸入

女子競走部大健闘



賞状とトロフィーを持つ川崎さん(右)と原田さん

第26回かずみがうらマラソン(4月17日、茨城県土浦市)の10区女子の部で女子競走部の川崎美祈さん(人間2・山形県山形城北高)が3位、主将の原田詠麻さん(経営2・静岡県静岡北高)が4位と上位に食い込んだ。約16キロを走る同レースには1830人が出場。2人は招待選手として出場し、川崎さんが1時間00分12秒で、原田さんが1時間00分28秒でゴール。2年連続出場場の原田さんは6位だった昨年より41秒タイムを上げた。今年度の初戦を終え、川崎さんは「今後の大会

かすみがうらマラソン

でも結果を残せるように頑張りたい」と意気込みを語り、原田さんは「昨年を上回るように、自己新記録を目指す」と2年目の飛躍を誓った。約2300人が出場し、5月8日に行われた第26回仙台国際ハーフマラソン大会に女子競走部

市内の福祉施設を見学

人間教育学科2年次生



人間学部人間教育学科2年次生37人が4月26日、石巻市内の福祉施設3カ所を見学した。早期に現場を知ることが目的に設けている「保育・教育」通園施設「第二ひたかみ園」、「就労自立支援センター」コスモスを訪ね、各施設の概要や設備についての説明を熱心に聞いた。福祉の現場を見学するのは初めてという学生が多く、高齢者や車椅子使用者に配慮した環境に関心を寄せた。「個人の能力や体力、適性に

状況によって価格が変動する現状を指摘し「県産銀ザケの付加価値や収益性を高めたい」と話した。ゼミ生らが調理したラーメンを試食した関係者は、「おいし」と好評価。サバだしラーメンの地元、河北まちづくりに研究会の佐藤祐樹会長は「意外にあっさりしていてコクがある」と味に太鼓判を押していた。2食入り400円程度(税抜き)で、4月23日から石巻市内の一部スーパーでも出展販売される。

新入生が学内「探検」



▲ゴールを目指して一致団結

入学して約1週間の新入生が4月14日、「秘密」を探してキャンパスを探検した。1年次生対象の第2回進路ガイダンス(進路支援係主催)で、初の試みとして学内を舞台にしたゲームイベント風の企画を実施。約70人が4人ずつのグループに分かれ、協力しながらゴールを目指した。ゲームを通してコミュニケーションを深めてもらうのがねらい。講師と進路支援スタッフがオリジナルのシナリオを作成した。参加者はヒントをそれぞれに見つけ、クイズや難問に答えて秘密にたどり着くキーワードを手に入れるという仕掛け。大学やゼミ、サークル活動に関する問題に、ほぼ初対面の学生同士が知恵を出し合った。自力で秘密に達したチームはなかったが、スタッフの「最後のヒント」で9チームがゴールした。「学部を超えて団結できた(人間・男子)」「友達が増えてうれし(人間・女子)」「みんなで行動する楽しさを学んだ(経営・男子)」と、授業で利用したことのない施設に行く機会ができた(理工・男子)と満足そうな声が聞かれた。大成功に終わり、進路支援係では「目標達成のために楽しみながらそれぞれが努力し、協調性や

復興ボランティア

4年目がスタート

4年目を迎えた「復興ボランティア学」(全学ア活動)が4月26日からスタートした。「知る」から始まる復興支援をテーマに、石巻地域で活躍するボランティア団体の関係者の講義とグループ発表を通して地域の復興支援について学び、行動を促すことがねらいだ。火曜日の5時限(16時50分〜18時20分)に開講。学生約100人が履修し、一般にも無料で開放されている(申し込み不要、1回だけの受講)。講義のまとめとして7月23日には「復興ボランティア学EXPO2016」(10〜16時。4・5号館で。オープンキャンパスと併催)が開催される。

開催地	開催日	会場
石巻	6月12日(日)	石巻専修大学 *定期総会と同時開催
盛岡	7月3日(日)	ホテルルイズ盛岡
仙台	7月3日(日)	ホテルJAL シティ仙台
山形	7月10日(日)	山形国際ホテル
郡山	7月10日(日)	郡山ワシントンホテル
東京	7月10日(日)	TKP東京駅八重洲 カンファレンス センター

※8月以降の開催日は、大学のホームページなどでお知らせいたします。
※会場等に変更が生じた場合は、大学のホームページなどでお知らせいたします。
※育友会に関するお問い合わせは、☎0225・22・7714までご連絡ください。

対人能力を身につけた「日」わが子のいのち「判断」で学ぶ「いじめ」防止・抑止」新福悦郎人間学部特任准教授▽6月23日「大切なもの、私のふるさと」田村真介経営学部准教授▽6月30日「あなたは自伝に何を書きますか?」記憶・自伝のフィクション性について」大縄道子人間学部准教授▽7月7日「無趣味人間の私が頭の中で密かに楽しむ化学」福島美智子理工学部教授▽7月14日「教育を哲学するということ」西方守人間学部教授

6月2日「開学」

みやぎ県民大学「石巻専修大学開放講座」が6月2日からスタートする(毎週木曜日、全7回)。今年の統一テーマは「あなた大切なものは何ですか?」。教員が専門分野について分かりやすく話し、大切なものに「気付き」「深める」ことのできる楽しさを伝える。受講は無料。

【テーマ・講師】
▽6月2日「たとえボケても幸せに暮らすことができるためのケアについて」照井孫久人間学部教授▽6月9日「あなたの毎日を支えてくれる大切なマイクログラミン」水野純理工学部教授▽6月16

【時間】19時〜20時30分
【場所】4号館4101教室
【お問い合わせ】専修大学開放センター
☎0225・22・7716 E-mail: kashin@senshu-u.ac.jp